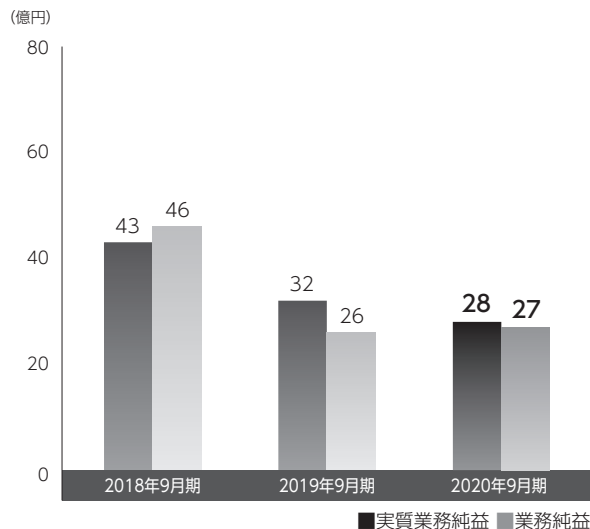


## 実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、資金利益は増加し経費も減少しましたが、その他業務利益が減少し、前年同期比3億50百万円減少し、28億96百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金繰入額の減少により、同29百万円増加の27億28百万円となりました。

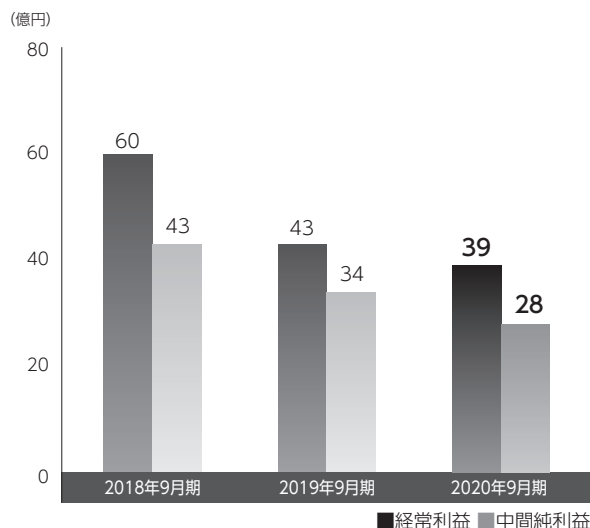
## 実質業務純益と業務純益



## 経常利益と中間純利益

臨時損益は、株式等関係損益が増加しましたが、不良債権処理額の増加や償却債権取立益の減少等により、前年同期比4億38百万円減少の12億54百万円となりました。これらの結果、経常利益は、同4億8百万円減少の39億83百万円、中間純利益は、同5億31百万円減少の28億77百万円となりました。

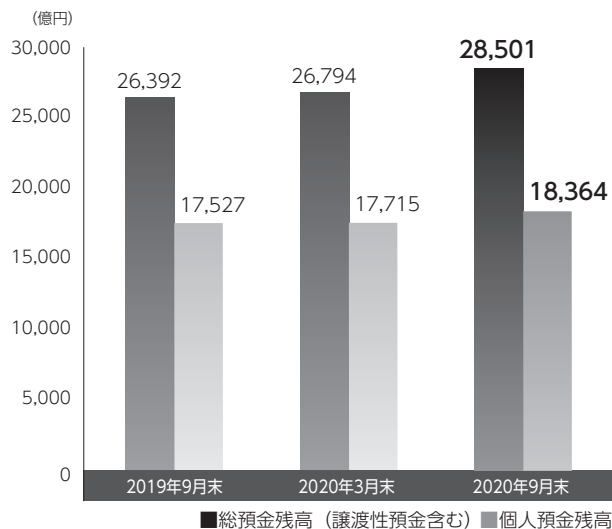
## 経常利益と中間純利益



## 総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金・法人等預金および譲渡性預金がそれぞれ増加し、前年同期末比2,109億円増加の2兆8,501億円となりました。前年度末との比較では1,707億円増加しました。

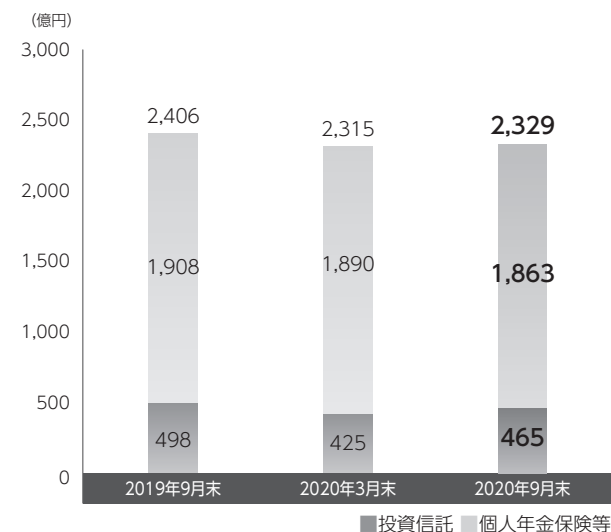
## 総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



## 個人預り資産(投資信託、個人年金保険等)

個人預り資産(投資信託および個人年金保険等)は、お客さまに寄り添った個人コンサルティング活動を行いましたが、新型コロナウイルス感染症に配慮した営業活動により、前年同期末比77億円減少の2,329億円となりました。前年度末との比較では14億円増加しております。

個人預り資産残高(投資信託および個人年金保険等)



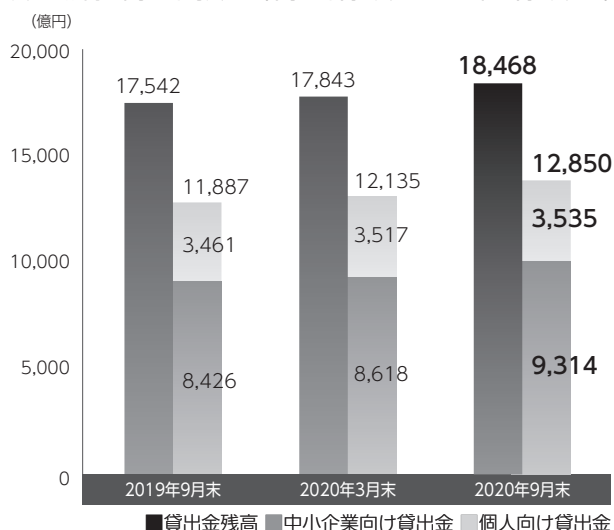
## 貸出金と中小企業等貸出金

貸出金は、引き続きアセット構造の改革を推進したことにより、大・中堅企業向けは減少しましたが、個人向け・中小企業向けが増加し、前年同期末比926億円増加の1兆8,468億円となりました。前年度末との比較では625億円増加しました。

中小企業向け貸出金は、新型コロナウイルス感染症に伴う資金繰り支援に積極的に対応しました結果、前年同期末比888億円増加の9,314億円となりました。前年度末との比較では696億円増加しました。

個人向け貸出金は、住宅ローンの増加により前年同期末比74億円増加の3,535億円となりました。前年度末との比較では18億円増加しました。

貸出金残高と中小企業等貸出金(中小企業向け貸出金および個人向け貸出金)



## 有価証券

有価証券は、地方債や投資信託を中心に投資しました結果、前年同期末比511億円増加の8,849億円となりました。前年度末との比較では708億円増加しました。

有価証券残高(円建債券、外貨建債券、投資信託等)

